

自分たちのまちは、自分たちでつくるう！

地域
ぶんけん

くれは

平成30年2月号 No.12



呉服小学校区エリア
室町 桃園 姫室 呉服 満寿美
宇保八王寺 アルビス池田
池田市のデータ くれは校区の人口と世帯数
人口：11,904人 世帯数：5,746世帯

▶▶▶▶▶ くれは地域コミュニティ推進協議会 ◀◀◀◀◀

池田市では地域分権制度を開始して今年で10年になります

くれはフェスティバル

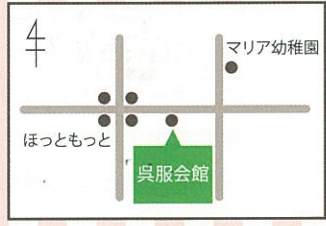
大人から子どもまで楽しめる地域のお祭りです。
たくさんのご参加をお待ちしています。
ふくまるくんも遊びに来てくれるよ。
見つけたら一緒に写真を撮ろう！！

とき **3月18日** 日

午前10時～午後2時半

※雨天決行【警報が出た場合は3月25日に延期】

ところ **呉服会館**
池田市呉服町11-1



舞台コーナー
(2F 大会議室)
大正琴、落語、手品、
紙芝居、人形劇

食べ物・飲み物コーナー
(運動場)
ピザ、パスタ、カレー
フランクフルト、唐揚げ
フライドポテト、焼き鳥
ミックスジュース
ビール、お茶
ALL ほぼ100円

ゲームコーナー
(運動場)
射的、おもちゃくじ引き
スーパーボールすくい

リユース・フリマコーナー
(2階 和室)
子ども服無料交換会
(ベビー服～160サイズ)
雑貨・小物販売
★子ども服は持ち込だけでも、
持ち帰りだけでもOKです!!

抽選コーナー
豪華景品あり!!
自転車、国産黒毛和牛
お米、ワイン
お菓子詰め合わせ等
などなど

抽選受付：午後1時まで
抽選開始：午後2時～

都合により内容が多少
変更する場合があります。

地域に奉仕する「ほほ笑みの街プロジェクト」

「ひげの殿下」と親しまれた「寛仁親王」が国際ユニバーサルデザイン協議会の設立に当ってその理念として示された言葉がある。「100%の障害者はいない100%の健常者もない人間は皆、身心のどこかに障害部分を持っており、なおかつ健常なる部分をも合わせ持っている」と話された。障害者も健常者も何ら変わらない、精神障害者は特定の人のものでなく、誰もが少なからず陥る障害なのだ。そして私は自身の問題として考えるようになりました。

日本では今も精神障害者を一般社会人とは区別して扱う環境下であって患者として病院に半ば拘束状態で長期入院させて薬物療法を用いて症状を改善させる治療方法が行われています。そして障害者の社会人としての生活・就業・人権などを支援する社会環境は未熟なのです。

イタリア北東部の港湾都市トリエステは古代より中部ヨーロッパへの門戸として繁栄して第2次大戦後イタリア領となった人口21万人の国境の小都市です。先進と言われるトリエステの精神障害者に対する対応はどうなっているのでしょうか？ イタリアには単体の精神病院は一つもありません。1998年にバザーリアという医師によって、イタリア全土で完全に閉鎖されたからです。これに対して日本は先進国の中で病床数も入院機関も最も多い国です。イタリアでも1960年頃までは日本と同様に入院イコール障害者として扱われていました。バザーリア院長はナチの収容所と同じではないかと嘆いて病院の改革に取り掛かりました。

まず、病院の清掃人に化けて直接障害者に接しその行動発言についてつぶさに調査を行いました。そして障害者の正常な怒りが異常と認識されている実情を見て正常な医師と患者との対応の必要を感じ改革を進め20年を費やして1200人いた入院患者を1998年にゼロとしました。精神障害者の精神の症状は見えないが人生の一時期の症状として外傷と同じように治療すれば健常者に戻るものであることを実践しました。悪化しても薬で抑え行動を制限することはせず、時間をかけて過去の症状や家族構成、人生の経歴、環境の変化までも調査し話し合って改善して行く粘り強く忍耐のいる治療を行ったのです。

治療に画一したモデルはない！患者一人一人のオーダーメイド治療が必要であると言われました。また患者自身が自分で何かを行うことの大切さも教えられました。トリエステの社会は障害者にとって良き理解者であり協力者でもあります。もと病院のあった広場は学生・患者・市民との交流の場となって相互で長時間話し合い、ふれあいサポートする知識をふくらませている。

日本人と全く違う価値観・風習・文化・言語のイタリアで行われている精神障害者への対応がそのまま日本に受け入れられるとは思えませんが立場や環境を市民が考えて見る必要があると思います。

池田市宇保町にある精神障害者地域活動支援センター「咲笑」（さくら）で精神保健福祉士として業務に携っていた頃、小村絹枝さんは自らトリエステの現地を訪れて実情を体験してこられました。そして障害者の社会への関わりの試みとして2013年9月「ほほ笑みの街プロジェクト」を発足させました。

プロジェクトのメンバーは精神障害・自営業者・飲食店業者・学生・外国人・研究者など様々な分野の人々が加わっています。そして、皆でつくる食事会・そうめん流し・くればまつり、てるてる広場などの地域イベントにクレープ提供などで参加・花壇づくり野菜栽培などの事業を広げて行きました。最近では子ども食堂の運営にも関わって子育て支援にも活躍しています。活動を通じて地域の障害者に対する理解が深まると共に障害者自身の社会への自然な関わりに変化が見え始めて来ています。

小村さんは現在も、佛教大学の講師を務めながらメンバーと一緒にプロジェクトの事業化を進める活躍をされています。

文 中岡 嘉弘

活動報告&参加者募集のお知らせ

防災訓練

10月29日呉服小学校にて、防災訓練が行われました。

当日は大雨にもかかわらず、大勢の自治会の方々にお集まりいただきました。急な怪我人が出たときの救護方法、AEDを使つてのシュミレーション、救急車の呼び方、などについて、消防士の方々から丁寧にわかりやすく教えていただきました。

参加者には、防災用品として非常食セットを配布させていただきました。



花いっぱい運動支援事業

■その1

11月27日、呉服小学校において、4年生児童と地区福祉委員の皆さんと一緒に冬の季節に強いビオラ・パンジーなどのお花を花壇に植えました。



■その2

12月に2日間に亘って、満寿美町のダイエーとガストの通りにあるプランターの植え替えを行いました。12月5日に、雑草抜き、土・肥料やり、等整備をして、12月12日はローズマリーの苗植えをしました。

地域コミュニティのメンバーをはじめ、満寿美町自治会の方々、地区福祉委員の方々、社会福祉法人てしま福祉会ほのゆるの皆さんに手伝っていただき、予定時間の半分ほどで作業が完了しました。



グランドゴルフ 報告&参加者募集



猪名川河川敷グランドにて、5月、7月、9月、11月の4回に亘って、グランドゴルフを実施しました。毎回20名ほどで集まって楽しくプレイしています。来年度も開催しますので、興味がおありの方は、呉服会館管理人までご連絡ください。

宇保会館の調理室の
コンロが新しくなりました!!



くれは地域コミュニティ推進協議会
役員メンバー表 (敬省略)

役員

会長	青井 秀浩	会計	安田 禮子	監事	今井 徹
副会長	瀬島 康友	相談役	中岡 嘉弘	監事	田中 範子
副会長	西田 啓輔	相談役	林 克彦		
副会長	宮本 純二	相談役	荒木 那彦	*青パト隊長	今井 徹
		書記	乾 禎則		
		書記	伊勢 睦子		

教育部会 部会長	中野 正人	副部会長	谷口 徹・伊勢 睦子
福祉部会 部会長	大西喜久子	副部会長	大田 浩司・青井 奈緒
環境防犯部会 部会長	今井 徹	副部会長	西本 秀一

教育・福祉部会
メンバー

原田有紀子・酒井 昭三・木村 和資・朝見 直・田中 範子
 今田 洋・松本千賀子・中路間美貴・小栢 弘・乾 禎則
 深井 倫子・森 太郎・中野 春樹・安原 咲江・大本 千世
 村上 明美・禰覇 実理・尾川由紀恵・島 優子・梅田 美子
 山脇 裕彦・榊原美佐緒・畑 和美・斎藤 晴美

環境防犯部会
メンバー

和田 潔・干川 孝男・甲斐 勝美・岩中 雅子・岸 徳治
 岡 平・西富 征子・石川代志美・西田 啓輔・角樋 洋
 岡田 芳浩・荒木 那彦・林 克彦・須浦 克夫・瀬島 康友
 宮本 純二・松尾 健次・安田 禮子・中岡 嘉弘・佐々木喜美

(2月15日現在)

以上53名(姫室町8名、満寿美町10名、桃園6名、室町7名、呉服町7名、宇保八王寺15名)

きりとり

- くれは地域コミュニティ推進協議会 入会申込書
- くれは青パト隊パトロール 入隊申込書
- ご要望



ふりがな
氏名

電話番号

住所 池田市

ご要望内容

*呉服会館前「くれは地域コミュニティ推進協議会専用ポスト」にご投函ください

発行責任者/会長 青井 秀浩